

◆第 2 回東方経済フォーラムにおけるアレクサンドル・ガルシカ極東開発大臣のプレゼンテーション（2016 年 9 月）

尊敬する第 2 回東方経済フォーラムにご参加の皆さま、ここウラジオストクで、再び皆さまにお会いできたことを大変嬉しく思います。さて、私は今日のこの最初のセッションのために、ユーリー・トルトネフ副首相とともに特別にプレゼン資料をご用意してまいりました。プレゼンでは、昨年第 1 回東方経済フォーラムが行われてからのこの 1 年の間で、極東で起こった変化についてお示ししようと思います。

思い出していただきたいのですが、プーチン・ロシア大統領は、極東および東シベリアの振興と加速度的な成長は 21 世紀を通じたロシアの発展の国家的優先事項であると位置付けました。私はまず、この 1 年で変わらなかった点についてからお話しを始めたいと思います。それは何よりも、極東はロシアの領土の 36%を占めているということであり、また極東は 6 億 1,700 万ヘクタールの領域を有し、17,700 キロメートルの海岸線、630 万人の人口を抱えているということです。さらに、極東に暮らす人々は 40 の民族にのぼり、さらに極東には 335 種類におよぶ希少な動植物を見ることができます。また、この地域は資源も豊富です。アジア太平洋地域を 100 としますと、極東にはダイヤモンドの 81%、森林の半分、淡水の 37%、水産資源の 3 分の 1、金の 32%、天然ガスの 27%、石油の 17%が存在します。さらに、ロシア極東は北東アジア地域のなかで最も環境的に優れた地域でもあります。温室効果ガスの排出量、住民一人当たりの森林面積、住民一人当たりのきれいな水といった指標を見てみますと、極東はダントツのトップです。皆さまもウラジオストクに来られ、ここの空気を吸い、このことを自分自身でお感じになったのではないのでしょうか。ここの空気は実にきれいです。

それから、極東へ投資する人々に対して行われる国の政策についても、変わらなかった点として挙げる事ができましょう。私たちは昨年同様、投資家に対する税負担の軽減や行政手続きの簡素化・利便性向上、そして投資案件に対する人材提供や特別融資、インフラなどにおける支援を行うことに焦点を当てています。投資案件実現に向けたコストや時間的ロスを低く抑えることを目指しているのです。これが私たちが進めている仕事です。

投資環境を示す指標、あるいは投資案件の採算に直接影響を及ぼすような指標について見てみますと、この 1 年の間でロシア極東は、先行発展区域やウラジオストク自由港、その他の発展のための新しい制度のお陰で、投資・ビジネス環境の面で競争力を持ったと言えます。それは税金や保険料、建設許可の取得期間、電力敷設にかかる期間、通関にかかる時間、電気料金、ガス料金、産業プロジェクト用の工業用水の料金といった指標ですが、ロシア極東は今日この地でのビジネスを考えておられる投資家の方々に、最適の条件を提供することができるのです。こうした点が昨年から変わらなかったことです。

さて次に、変化についてお話ししましょう。

非常に重要なことですが、極東ではまだダイナミックなテンポで工業生産が伸びています。2016年上半期における工業生産の成長率は105.4%でした。固定資本への投資額も増加し、極東で活動する企業の収益の成長速度も2倍以上を示しています。さらに、私たちにとって最も重要なことであり、極東の発展にとって価値あることですが、今日極東では人口動態がこの四半世紀で最適の状態となっています。人口減少が5分の1以下のレベルにまで減り、9つのうちの4つの地域では人口の増加が見られます。これはまだ始まりにすぎません。私たちが望むのは、極東において人口が増加し、この領域の開発と整備が進むことです。

今年になり、極東発展のための新制度が稼働を始めました。こちらのグラフをご覧ください。昨年について言えば、先行発展区域という制度が作られましたが、これらに対する投資はまだでした。思い起こしていただきたいのですが、先行発展区域で投資案件実現に向けた最初の居住企業としての申請が公式に行われたのは昨年の8月17日のことで、そのすぐ後の9月3日、4日にこのフォーラムが行われたのでした。一方今年はというと、13の先行発展区域が作られ、投資家らにより既に172件、総額5,140億ルーブルの投資プロジェクトが申請されています。

1年前は、ウラジオストク自由港に関する法律が採択されたばかりで、これが発効したのは10月12日のことでした。一方で今日、122人の投資家が自らのプロジェクト実現の場としてこの地域を選び、1,730億ルーブルの投資をもたらしています。

昨年のこの時期は、投資プロジェクトへのインフラ整備支援制度が始まって2か月が経過したばかりでした。これはまさに具体的な投資案件に対してスポット的に行われる制度です。今年について言えば、この制度に基づき国が投資に必要なインフラ整備に連邦予算を拠出するプロジェクトの数は既に13件を数え、その投資額は2,920億ルーブルとなっています。

昨年は、極東発展基金による最初の融資が行われてわずか1か月しか経っていませんでしたが、今、同基金は極東の9件の投資案件に融資を行い、これにより850億ルーブルが投資されました。

こうした投資が行われるのは、例えば造船や石油精製、農業、輸送ロジスティクス分野におけるインフラ整備、天然資源の開発、天然資源の加工などの分野です。非常に重要なことですが、極東発展基金は投資案件に対し、10年やそれ以上の長期間にわたり年率5%で資金を提供する直接融資を行っているだけではありません。さらに重要なことは、極東発展基金は今年になって投資プラットフォームや制度的な性格を有す投資商品の開発に取り掛かり始めたことです。まさにこのフォーラムにおいて、露中農業基金が立ち上げられますが、これは極東の最初の農業プロジェクトに出資を行います。基金の拠出する1ルーブルに対し、中国のパートナーは9ルーブルを提供します。中規模・小規模ビジネスのための特別クレジット商品も作られ、機能しています。さらに、Voskhodという投資シス

テムが立ち上げられます。これについては、あとからアレクセイ・チェクンコフ極東発展基金理事長から説明があると思います。

親愛なる皆さま、とても大切なことは、今日皆さまには極東でまさにこれらを実行している投資家の方々と直接会い、協議し、質問したり、彼らが既にどのようにここで働いているかを聞いたりするチャンスがあるということです。そして、それが皆さまにとり、極東進出の決定を促す一助となることを期待したいと思います。今日、合計 316 件、1 兆 640 億ルーブルの投資案件がありますが、これが極東の新しい経済の新しいプロジェクトなのです。

地理的に見てみますと、極東連邦管区の 9 つすべての地域が例外なく投資の対象です。これらすべての地域において活用されているのは、投資活動を促進する様々な制度です。ここで申し上げておきたいのは、国も極東に拠出していますが、これは民間の投資と比べれば二義的なものにすぎないということです。国の資金によって、例えば投資家にとって不可欠なインフラの整備が行われたり投資案件への融資が行われたりしていますが、これはリスクを軽減させ、確信を与え、必要な資金を提供するためです。国が今日これらのプロジェクトに対して拠出している資金は、総額 830 億ルーブルとなっています。ここでその効率性についても触れておきたいと思います。国により拠出される 1 ルーブルに対し、12 ルーブルの投資が行われています。1 に対しその 12 倍です。

もちろんこれらのプロジェクトは、生産性が高く質の高い雇用も新たに創出しており、これらの投資案件によって 67,000 件の新たな雇用が創出されています。

前の 1 年間で総括するに当たっては、その時まで成し遂げられなかった点について注意深く見てきました。今回率直に申し上げて、私たちはこの 1 年で成し遂げる予定だった 2 つのことをまだ成し遂げていません。昨年フォーラムでその予定を表明しましたが、今回この場でそれについて率直にお話ししましょう。ひとつには、ウラジオストク自由港にやって来る外国人のためのビザ制度の簡素化がまだ実現されていません。外国人が煩雑な手続きなしで、8 日間の電子ビザを迅速かつ便利な形で受けとることを可能にする制度ですが、これをまだ提供できていないのです。もうひとつは、新しい税収の成長分を活用する形で極東発展基金の増資を行うということで、これもまだ実現されていません。

では、次の 1 年で私たちが何をしようとしているかについてお話ししましょう。何よりも、成し遂げられなかったことを成し遂げたいと思います。ウラジオストク自由港へやって来る外国人のためのビザ簡素化を完全な形で導入します。そして極東発展基金への増資を行い、極東における新しい税収の成長分を基金増資に充てるという安定的な制度を作り上げたいと考えています。

これからの 1 年で極東の電気料金は下がり始め、2 年で全ロシアの平均レベルを達成する見込みです。現時点でロシアの平均は 3 ルーブル 19 コペイカです。これはアジア太平洋地域のなかでは最適な価格のひとつとなりますし、この地にやって来る投資家の皆さんにとり支払いやすい料金となるでしょう。資源関連のプロジェクトにとっては、電気料金とい

うのは非常に重要な支出項目です。

それから、私たちはウラジオストク自由港の投資家には統一税の制度を導入し、投資案件の実現に不可欠な外部インフラに自己資金を投入する投資家には税制の優遇措置を導入したいと考えています。また、漁業、林業、医療など極東にとって大変重要な産業分野への投資を呼び込むため、分野別の新制度も導入したいと考えています。

次に、皆さまとともに将来のこと、2017年に開催される第3回東方経済フォーラムで皆さまとお話ししたいことについて見ていきましょう。私たちは極東発展のすべての新制度にもとづいて投資を増加させるべく、今年整備され実際に動き始めた制度が来年うまく機能し、より改善されるべく作業を進めているところです。私たちは500件、投資総額2兆9,000億ルーブルの新規事業を見込んでおり、来年のフォーラムでは、これらの実現のために何が達成されたかについて皆さまにお話しできればと思います。

皆さまにはぜひ協力を呼びかけたい。私たちはオープンです。私たちの仕事は、皆さまのプロジェクトを支援し、投資やビジネスに最適な環境を作り出すことです。皆さまがまだ私たちとともに事業をされていないようでしたら、ぜひ開始されることを呼びかけたいと思います。先行発展区域やウラジオストク自由港の居住企業となることをご希望でしたら、極東発展公社の理事長がいつでも皆さまと懇談し、皆さまからの事業提案の検討に対応させていただく所存です。インフラ関連の助成を受けたい場合には、当省のアレクサンドル・クルチコフ局長がやはりいつでもどのようなご質問にもお答えさせていただきますし、必要なことすべてを行っていく所存です。極東で融資を受けられたい場合には、極東発展基金理事長が対応させていただきますし、必要な人材の確保に関しましては、人材開発庁の理事長が皆さまを支援させていただき問題解決に当たります。そしてもし、皆さまが不安に思うような問題について答えが見つからないような場合がございましたら、皆さまの従順な僕である私とトルトネフ副首相がいつでも皆さまと共に仕事を進め、皆さまのご質問やご意見にお答えしていく所存です。私たちのメールアドレスはここに記されています。親愛なる東方経済フォーラム参加者の皆さまが、次回第3回フォーラムの際に皆さまのプロジェクトの数多くの成功事例についてお話しすることを大いに期待したいと思います。

ご清聴ありがとうございました！

出展：第2回東方経済フォーラム公式HP掲載の動画より

https://forumvostok.ru/programma-main/odna-sessiya/?session_id=1615